鹿児島電気工事業協組青年部総会

前田部長再選 奉仕活動を継続

鹿児島電気工事業協同組合青年部（前田吉伸部長）は4日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で14年度通常総会を開き、経営基盤強化と技術の向上などを柱に、毎年恒例の奉仕活動を推進していくことを決めたほか、任期満了に伴う役員改選では前田部長（南栄電機㈱）をはじめ執行部全員の続投を承認した。

総会の冒頭、前田部長は「昨年も皆さんの協力のもと高齢者住宅の電気設備無料点検や車椅子寄贈など各事業を推進できた。今後も若い力を結集して継続して臨んでいきたい」と挨拶。

前田部長を議長に選出して行われた議案審議では、13年度事業報告及び収支決算、14年度事業計画案及び収支予算案を全て執行部原案通り可決承認。高山俊一氏（鶴丸電機工業㈱）の新規会員の紹介の後、任期満了に伴う役員改選では前田部長の再選を決めたほか、執行部全員の続投を承認した。

新年度事業計画は、①経営合理化講習会等の開催や中央会等の青年部会研修会への参加など経営基盤の強化と技術の向上を図る②会員の基礎体力作りを兼ねた福祉活動の推進③高齢者住宅電機設備無料点検や鹿児島市福祉協議会への車椅子（1台）寄贈―など。

経営講習会の開催も決めた総会
＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で

親睦ゴルフも 優勝は二石氏

二石　力氏

また当日は、鹿児島ゴルフクラブで青年部親睦ゴルフコンペも開かれ、二石力氏（マモル電工㈱）が優勝。ゴルフの成績は次の通り。

優勝＝二石力▽準優勝＝山本一幸（㈱サンコーパネル）▽3位＝鄙里和明（福西電機㈱）▽4位＝秋丸紘一（マルサン工業㈱）▽5位＝寺田実三（㈱ムサシ）

奉仕作業等の実施を決めた総会
＝鹿屋市のホテルこばやしで

鹿屋建友会青年部総会

一致団結で活性化を

鹿屋建友会青年部（下曽山秀二部長）は3日、鹿屋市のホテルこばやしで第8回通常総会を開き、肝属川クリーン作戦、高齢者世帯奉仕作業と講習会などの開催等を柱とした新年度事業計画などを執行部原案通り可決承認した。

初めに、下曽山部長（曽秀建設㈱）が「今年1年の活性化を目指して各議案を審議して下さい。親会と一緒に、また我々主導での行事等を皆の協力で乗り切って行きましょう」と挨拶。

続いて議長に、黒松潤二氏（㈱黒松製材建設）を選出して議題に入り、新年度事業計画などを原案通り承認した。

総会後に開かれた懇親会は、林正英副部長（豊明建設㈱）の進行で始まり、小林正義鹿屋建友会の活動に我々青年部会員も助かっています。今後も各分野で活躍され青年部を羽ばたたかせて頂きたい」とエールを送り、斉藤實前理事長が「青年部が小林理事長を支え、全員一致団結して活性化をはかりましょう」と訴えて会を終えた。

かごしま地域貢献活動センター発足

建築士の実践活動支援

県建築士会

県建築士会は、1日開かれた14年度総会で、士会活動の活性化と地域社会への貢献を図る「かごしま地域貢献活動センター」の設立を承認した。当初基金は120万円で、士会会員が参画し、地域貢献活動をしている団体に財務的支援を行う。

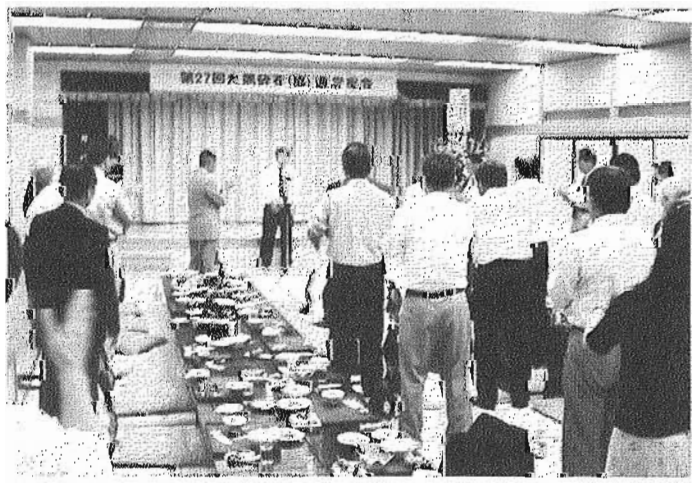
同センターは、地域住民が求めている環境、まちづくり、住まい、歴史・文化的遺産の保全、防災等々、固有の課題に対して建築士の職能を生かした実践活動を支援するもの。運営資金は基金を造成、取り崩し補充方式で、1団体当たり年間10万円を限度に事業費の半分を補助する。

センターは県建築士会内に置き、今月から広報・募集活動に入る。当初計画では6件程度を予定している。

大隅砕石協同組合総会

災害ゼロ運動を推進

大隅砕石協同組合（横山弘人理事長）はこのほど、鹿屋市のホテル大蔵で第27回通常総会を開き、14年度基本方針として更なる共販の充実、適正価格の確保維持、経営基盤の安定、業界の経済的地位の向上を柱とする新年度事業計画などを原案通り可決承認した。



組織の協調を呼びかけた総会
＝鹿屋市のホテル大蔵で

初めに、横山理事長（横山砕石㈲）が「公共事業の削減、減少と言うなかで厳しい時代を迎えています。13年度は重大災害もなく終えることができました。今は競争社会ですが、協調しないと生き残れないのも事実です。また組織でないとできないこともありますのでオーナーの皆さんの協力をお願いします」と挨拶。

議長に同理事長を選出し、13年度事業報告・収支決算承認、新商品（調整土砂）の売り込み推進、災害ゼロ運動の推進、教育研修会等への積極的参加、組合員・従業員の親睦と団結を図るためのスポーツ大会実施等を盛りこんだ14年度事業計画及び予算など6議案を執行部原案通り可決承認した。

木蔭

奥村 康博

アメリカの思い出

平成5年6月から2年間、アメリカのフィラデルフィアにあるペンシルバニア大学地域学科に留学した。ここで、都市はどのように成立するかについて、主に経済モデルの勉強をさせてもらった。

休日にはアメリカの郊外部をよくドライブした。フィラデルフィアのような大都会では、CBD地域は摩天楼が林立して非常に高密度であるが、その範囲は限られており都市地域は非常にコンパクトである。都心から離れるとすぐに住宅地となり、それを過ぎると森林になっている。郊外部では道路脇にショッピングモールがある。日本の御殿場や町田クラスの規模のものは州道沿いにいくつもあった。

フィラデルフィアの近郊では、都心からインターステイトハイウェイで30分程のところにあるフランクリンミルズショッピングモールが有名である。ここは端から端まで歩くと2キロくらいあり、駐車場は車を何千台、何万台置けるのか見当がつかないくらい広いものだった。これだけ広いと、ただ店を見て回るだけで半日がかりである。一つ一つの店も、例えば運動用品が大きい体育館ぐらいのところにぎっしりと並んでいたりしており、その規模の大きさ、ものの豊かさには本当に驚かされた。

アメリカではご存じのとおり、高速道路や州道が縦横無尽に張り巡らされている。よく片側何車線もある高速道路の写真を見かけるが、州道でもクローバー型のインターチェンジを持つ高速道路の形態になっていたものがあった。このような道路を使って車で移動することで比較的短時間に都心やショッピングのための場所へ移動できることから、住居地域は都市のまわりに広い範囲で広がっている。このため、住居地域では庭付きの大きな家が並んでいる。新聞の広告を見ると、都心まで30分でいけるところで3000万円も出せば城のような家が買える。

職は都心で、住はゆったりとした郊外で行うことができることから、空間の豊かさ、時間の豊かさ、ものの豊かさにつながっている。このようなアメリカという豊かさの一つの形を若い時期に体験できたことは非常に勉強になったと考えており、仕事を進める上でも大きなバックグランドになったと思う。

（国土交通省九州地方整備局鹿児島国道工事事務所長）

お手軽で便利な購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

“真心とほほ笑みと„をモットーに!!
家具総合卸
南日本家具工芸㈱
鹿児島市東開町13―30
TEL(099)269-7111 FAX 268-0385